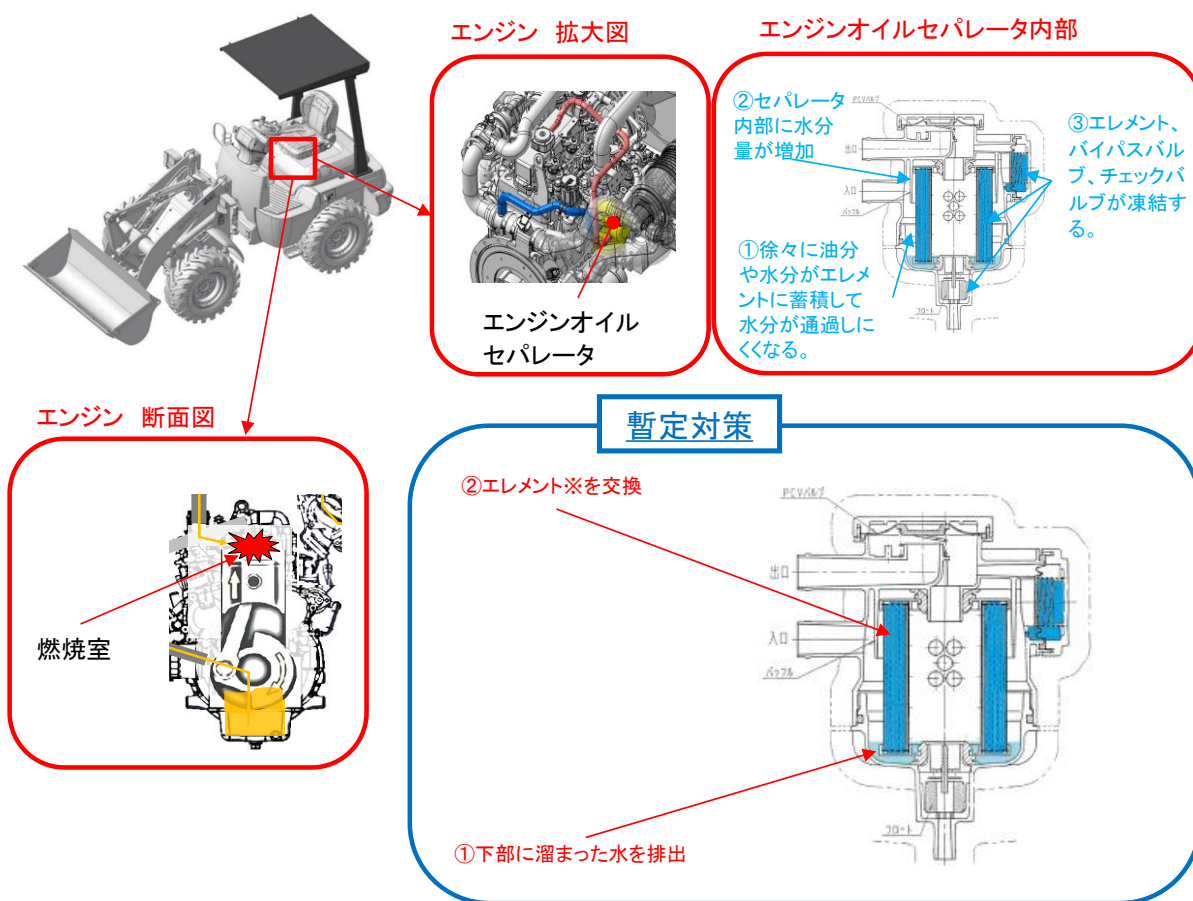


改善箇所説明図



不具合内容:

ホイールローダを寒冷環境で使用した際に、エンジンオイルセパレータ内が凍結するため、そのまま使用を続けるとエンジンオイルが逆流し、燃焼室に入ることによってエンジンが過回転となり、車両を適切に停止できず、最悪の場合、エンジンが破損し走行不能となるおそれがある。

改善の内容:

今回の対策については緊急性を要するため、全車両、暫定措置としてエンジンオイルセパレータのエレメントを新品に交換及び内部に溜まっている水の排出をおこなう。ただし、暫定措置で交換してから200時間したものは又は冬季シーズンに入る前に点検して水分の蓄積がみられる場合は、同様の対応を無償でおこなう。なお、検証が完了し、原因が判明次第、必要な場合は再度届出の上、恒久対策を実施する。

改善後の識別:

下の写真の部位、機種銘板の左下に白色マーキングを実施する。

